真鍋利徳君

作曲

夜は巡り 限りなき光の東はかぎのなきの東は

無為の思いもち嘆き憂える 朝の静寂の中一人にて 樹林をつらぬきぬ

もう情熱もなく涙ながる

一つの心を持ちさまよいぬ

何を求め

もはや言葉なく凍てつきて立つ

ポプラを見つめ祈りささぐ

真摯な魂は ほの暗き大気の底に

この暗さに なれど結びえず

大き精神 物思う我らに いまだあれどかすかなり

我等が命大き魂へ なれどいつの日か結びつけなん 不毛の日々はかわき過ぎ去りぬ

真摯な理性の輝きにさそわれて 女性の清き美しさ 乪

あまりに深き心のあがき ほのかな恋の想い胸に

物を思わなん。またの中我息しなんからのからの中我息しなん 清冷な川の流れに聞きいりて 深き森のささやき  $\pm$ 

静けさの中とけこみいりて いつの日にか